

●経理上手くんα DX Version:11.402

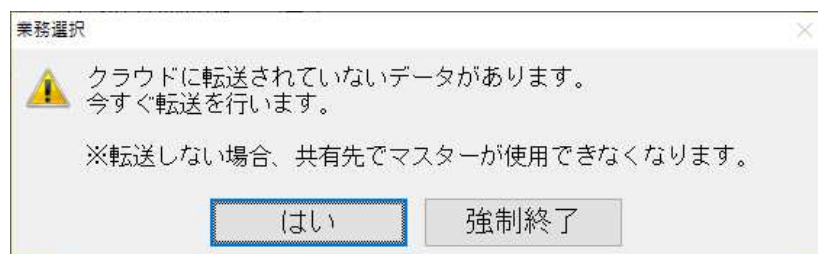
当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ ICSクラウド管理（参照モード対応）

➢ ICSクラウドオプションにおいて、クラウド共有しているマスターは、共有先で使用中の場合、もう一方の拠点ではマスターを開くことができませんでしたが、参照モードとして開けるように改良を行いました。

※今回対応を行うのは経理上手くんαシリーズ（非営利も含む）の導入・更新タブを除くマルチ起動可能業務のみとなります。翌期更新や新規会社登録・修正・削除、給与上手くんαシリーズ、償却上手くんαシリーズは従前通り処理できません。

◆ 業務選択終了時の、ICSクラウド転送メッセージ文言及び「いいえ」のボタンを「強制終了」に変更しました。



◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“財務処理db（VERSION:11.402）の変更点”を参照してください。

⚠注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

財務処理 d b (VERSION:11.402) の変更点

ICS クラウド管理 (参照モード対応)

1) 概要

- ・ICS クラウドオプションにおいて、クラウド共有しているマスターは、共有先で使用中的の場合、もう一方の拠点ではマスターを開くことができませんでしたが、参照モードとして開けるように改良を行いました。

2) 対応詳細

- ・参照モードでは仕訳の追加・修正は行えません。科目名称や科目残高の変更を行う事は可能ですが、参照モードで変更した情報はクラウドにアップロードすることはありません。共有先の情報がアップロードされますので、クラウドから取得可能な状態になったらマスターの取得を行ってください。(※参照モード中に変更した科目名称や科目残高は反映されません)

※今回対応を行うのは経理上手くんαシリーズ (非営利も含む) の導入・更新タブを除くマルチ起動可能業務のみとなります。翌期更新や新規会社登録・修正・削除、給与上手くんα・償却上手くんαシリーズは従前通り処理できません。

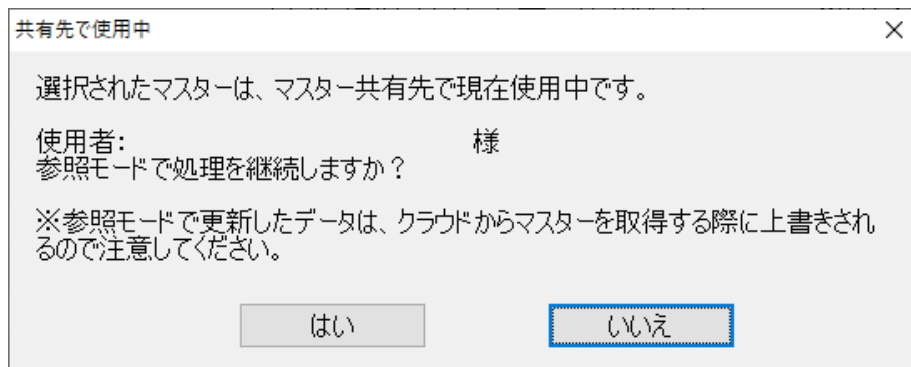
<改良前>

- ・相手先でマスター使用中の場合は会社選択時以下のメッセージを表示していました。



<改良後>

- ・会社選択時及び業務切替時に参照モードで処理を行うかどうかを選択するメッセージを表示します。

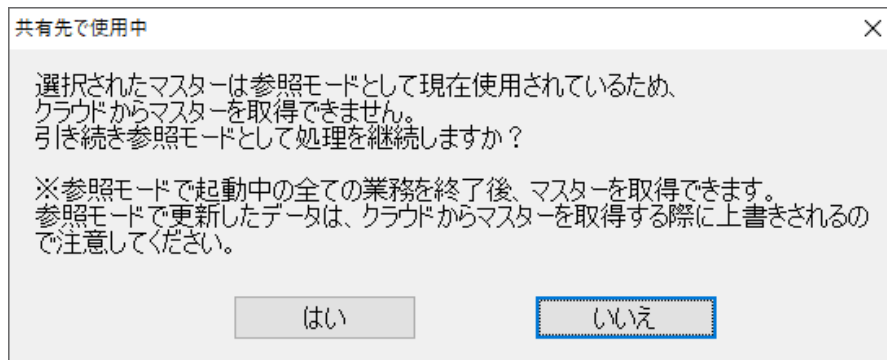


「はい」選択時には参照モードとして処理を継続します。

「いいえ」選択時には改良前の“確認”ボタン押下時と同様、会社選択に戻ります。

※共有先で翌期更新が行われている場合は参照モードでは起動できません。従来通りの使用中のメッセージを表示します。

【参照モードで起動中に共有先での使用が終わり、クラウドから取得可能な状態で別の業務を起動した場合】



「はい」選択時には参照モードで業務を起動します。

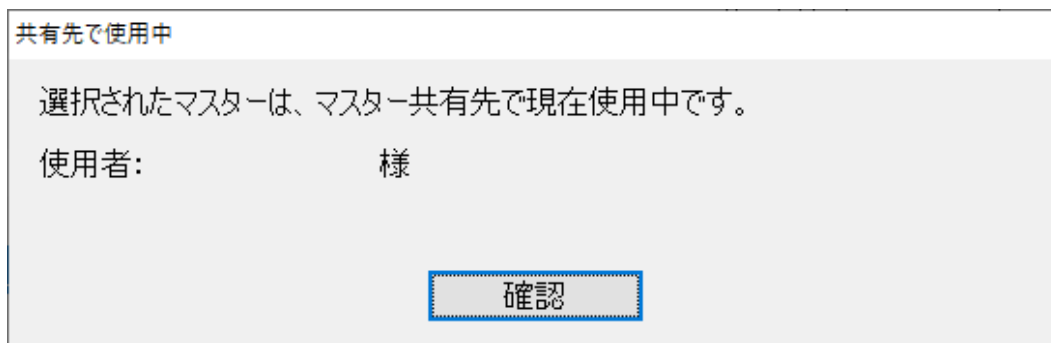
「いいえ」選択時には業務を起動しません。

※共有先がアップしたマスターをクラウドから取得したい場合は“いいえ”を選択し、参照モードで起動中の全ての業務を終了後に業務を再起動後に該当マスターを選択します。

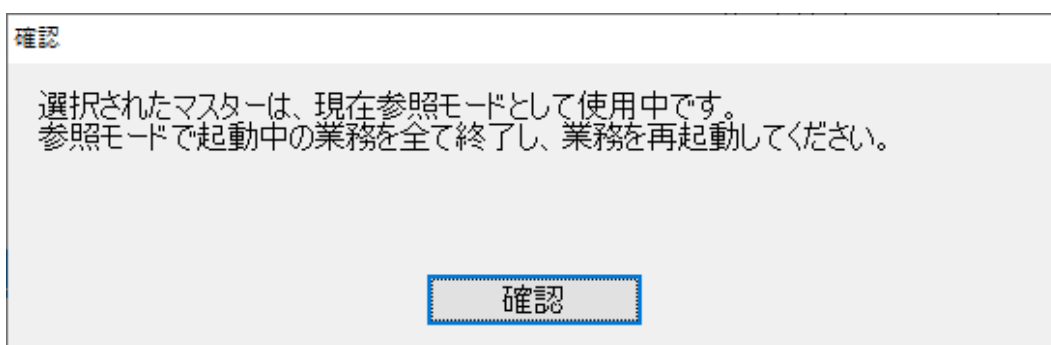
【参照モードで起動中に共有先で翌期更新が行われ、別の業務を起動した場合】

共有先で翌期更新後に、共有先マスターのクラウドへのアップロードが完了する前か後かでメッセージが異なります。

①共有先マスターがクラウドへアップロードされる前

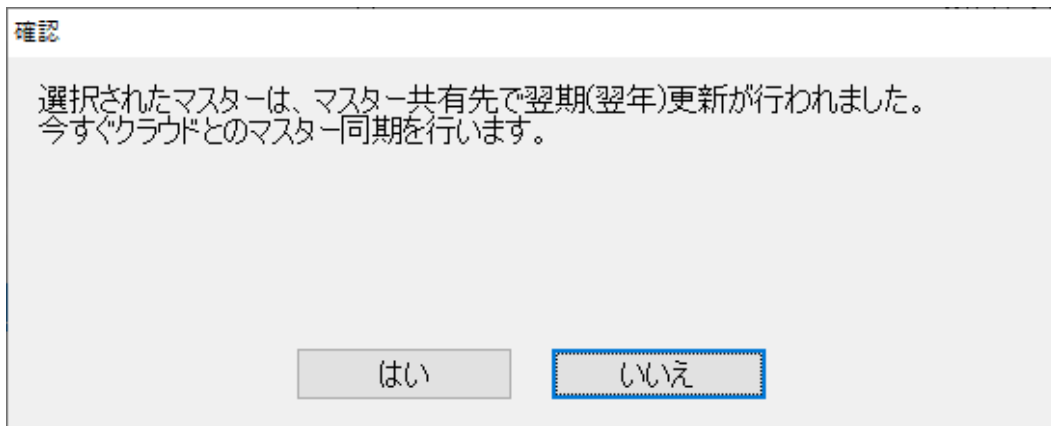


②共有先マスターがクラウドへアップロードされた後



※共有先で翌期更新が行われている場合は参照モードで起動できないため、新たな業務を起動するには更新されたマスターを同期する必要があります。

参照モードで起動中の業務を全て終了し、業務を再起動して該当マスターを選択すると、クラウドとのマスター同期を行えます。



参照モード中の動作について

《業務全般》

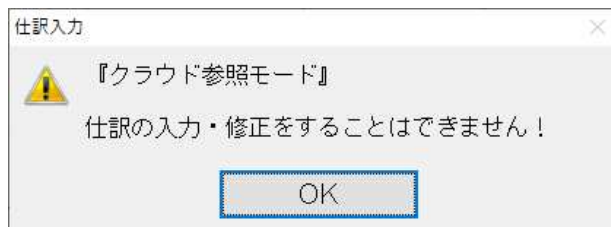
タイトルバーの背景色が変更され、「参照モード」と表示（背景色は過年度より優先）



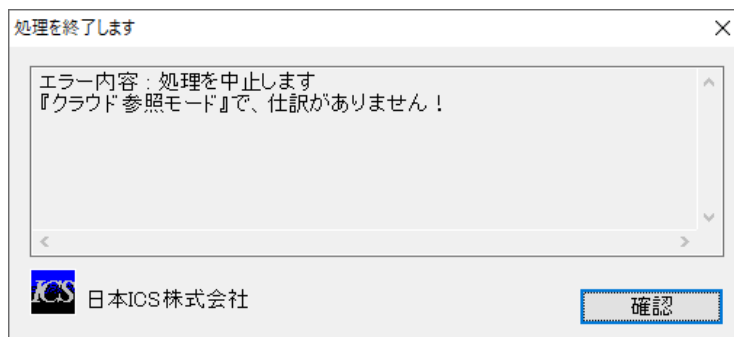
《仕訳入力》

- ・仕訳の追加・修正はできません。

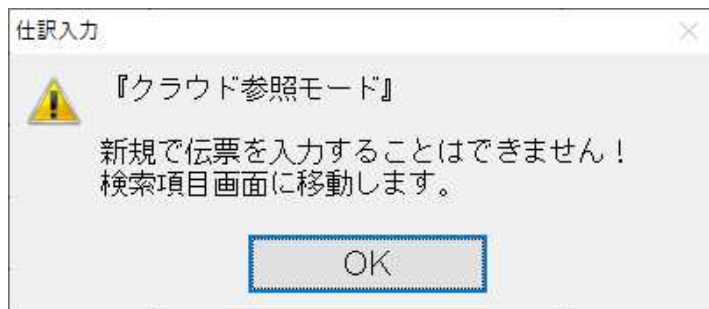
仕訳追加入力時に表示されるメッセージ



仕訳の入力がない場合のメッセージ



伝票入力タブに移動した際のメッセージ（伝票入力で伝票登録が1枚も無い場合）



出納帳入力ではメッセージ表示での制御は行っていません。
金額等修正しても、書き込まれずに元に戻ります。

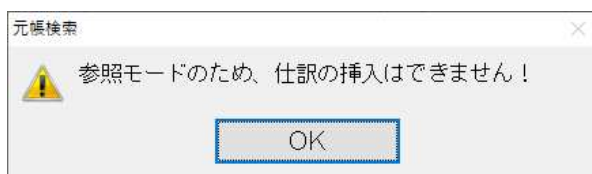
«元帳検索»

- ・仕訳の追加・修正はできません。
ツールバーでファンクションキーが割り当てられている業務は選択できます。（印刷等）

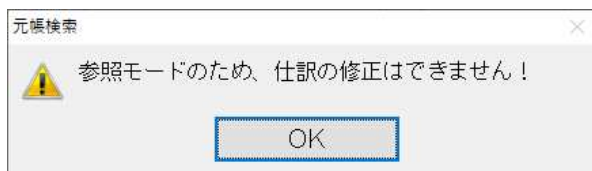


但し、下記業務はメッセージで制御しています。

[F4 仕訳追加] 時に表示されるメッセージ



[F11 貸借修正] 時に表示されるメッセージ



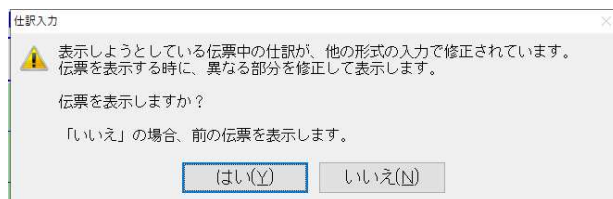
修正

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

①伝票入力

- ・伝票形式で登録した仕訳を別の入力で一部だけ修正し、その伝票を“F5 前の伝票”で表示すると、『表示しようとしている伝票中の仕訳が、他の形式の入力で修正されています。伝票を表示する時に、異なる部分を修正して表示します。伝票を表示しますか？』のメッセージダイアログが表示され、その状態でタスクバーなどで別のプログラムに切り替えると伝票の内容が削除されたり、不正な仕訳が作成されていたのを修正しました。



以上